

人権教育だより

考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心

市川市立第三中学校
令和5年10月16日発行
第6号

こどもがこどもでいられる街に。

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている**家事や家族の世話などを日常的に行っているこども**のことです。

こどもが家事や家族の世話をすることは、ごく普通のことだと思われるかもしれませんが、でも、ヤングケアラーは、本当なら享受（受け入れて楽しむこと）できたはずの、勉強に励む時間、部活に打ち込む時間、将来に思いを巡らせる時間、友人との他愛ない時間…これらの「**子どもとしての時間**」と**引き換え**に、家事や家族の世話をしていることがあります。

まわりの人が気づき、声をかけ、手を差し伸べることで、ヤングケアラーが「**自分一人じゃない**」「**誰かに頼ってもいいんだ**」と思える、「**こどもがこどもでいられる街**」を、みんなでつくっていきませんか。**それはきっと、すべての人が幸せに暮らせる社会をつくる一歩になるはず**です。

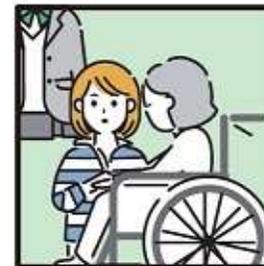
☆ヤングケアラーとは例えばこんな子どもたちです



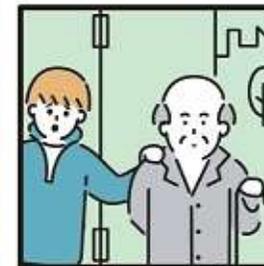
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいはしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

ヤングケアラーの現状

令和2年度に中学2年生・高校2年生を、令和3年度に小学6年生・大学3年生を、それぞれ対象にした厚生労働省の調査では、世話をしている家族が「いる」と回答したのは小学6年生で6.5%、中学2年生で5.7%、高校2年生で4.1%、大学3年生で6.2%でした。これは、回答した中学2年生の17人に1人が世話をしている家族が「いる」と回答したことになります。



ヤングケアラーに関する相談窓口

児童相談所 相談専用ダイヤル

通話料無料 いちはやく おなやみを
0120-189-783

桜歌祭

桜歌祭に向けての活動が始まりました。各クラスや、委員会、部活動での発表に向けて準備や練習をしていると思います。時には、人と意見が合わず、対立してしまう場面も出てくるでしょう。そんな時、自分の言いたいことだけ言ってしまうと、相手を傷つけてしまいます。対立してしまった時は、一度、距離と時間を置き、冷静になりましょう。そして、相手の気持ちを考えた上で、お互いに話してみましょ。解決が難しい時は、友達や先生方に相談するのも良いでしょう。

いろいろな壁を乗り越え、ステキな桜歌祭にしましょう。

